

日二十月一

常警日新

定額一円
 廣告料五十二字第一行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警日新新聞社
 印刷所 常警日新印刷株式会社

陣中想出話

(先)

平町出身

歩兵第九聯隊 水野重光
第三中隊

陣中想出話

九月十日、襲撃の際逃亡した者共は日本軍が関兵と稱して我々を全部集めておいて、機關銃で射殺するのではなからうかなど、びく／＼しながら集まつてゐる。日本軍は何をするかわからんと半信半疑で頭を右に廻し、左に廻し何事かを話してゐる、彼らは可愛相なものだ。

日本軍は機關銃五挺をろへて鐵兜も男々しく頑張つてゐるから彼らの心配したのも無理からぬ事であつた。

関兵式の次第を話する爲めに分隊長以上集合を命じた。分隊長は歸つて兵に色々注意を與へて整頓しなほした。六百人以上の人間を二列横隊に並らべると仲々立派なものだ。

なつた、自安局の樂隊が敬禮と共に歓迎の譜を吹奏した。

大隊長は馬上豊かに答禮の後部隊前を右翼の位置に到り関兵を開始せらるる續く者は第三中隊長淺井少尉、小林特務曹長、吉野曹長(以下支那馬)米田曹長、市川曹長、中島通譯七名である、帥團長が関兵する時の

ノット

古い藤椅子を新しくする

には洗濯石鹼をたはしにつけてこすれば大抵はとれますが、尙よくとれない時は濃いあつたいソーダ容液で洗ひます、この液は手を癢めますから手には付かない様に注意します

如き氣持にて進む小隊長以下は幕僚格だ一生一代の光榮に浴し一同感激した。支那兵は捧銃の敬禮をな

二明日の献立

【朝】すまし汁—小かぶ

油揚げ

【晝】椀—ぶり しらが昆布

【晩】にしめ—揚ゆばなまふ

し劉曉たる喇叭を吹奏する。関兵官治安局員の前に差しかつた時、太鼓を打つて

歓迎したために大隊長、中隊長の馬は驚いて逃げ出し樂隊をやめた様だつた。

治安局の兵は皆百姓町人にて捧銃の様子、各種各様捧銃をして関兵官に注目せず脇の方に顔を向けてゐるものあり、滑稽千萬だ我が第三中隊の最大人草野中尉の不在なりしは惜しい事だつた。

大隊長は関兵後全員に對し訓示され、ル局長通譯す曰く「磐石は磐石人の故郷なり、故に磐石の人に依りて守られざるべからず、若し守る力足らざる時は日本軍は之を援助する事を努むるは當然なり、今諸士の整然たる軍容を見て意を強うせり、萬一匪賊の來襲する事あらんが日本軍の隊長の指圖に従ひ各力を合し整々たる行動をとるべし、然る時は磐石は安泰ならん」と大隊長の訓示に依り一同頗る安心「やれ／＼殺されずに済んでよかつた」といふ様子だつた。

警備隊は大隊長殿を先頭に入城した、関兵式終了たる各部隊は喇叭の行進譜を秋空高く響かせつゝ、各兵舎に向て歸還の途についた

外科

門專 X
科線光
上田外科病院
平町南町
電話一二九番



六三四通場車停日丁四町平

イヤ！君！
 いゝ冬服を求めたね
 断然三三年型だよ
 いやコレカネ！
 例の……「ソレ」
 正札堂さ

専門
 産婦人科
 花柳病科
 入院應需

井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

御贈答に
 記念品に
 諸景品に
 漆器を!!!

専門の共は
 誠實勉強
 親切第一
 在庫豊富

是非御用命を
 ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
 ル、ヌルモノミセ
 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
 各産漆器
 専門卸小賣
 漆器店
 十三才位 小 店員
 三十才位 外 交員

吸入尿酸素純度 99%
 体温器
 寒暖計

度量衡

モノサシ
 マス
 ハカリ

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

関内藥局
 電話四〇番



玉屋洋品店
 平町田町通電話五六六番

三河産業博覽會 金牌受賞
 昭和产业博覽會

かまぼこ製造
 杉詰屋
 昭和三十四年博覽會
 平町一丁目

お惣菜用
 さつま揚
 吉原揚
 不器用
 電話一四一番

常磐線殿りの

通過凱旋兵

明日二回平驛を

驛頭に歓迎の渦

既報—明十三日には多門師團凱旋部隊として歩兵三旅團司令部及び歩兵四聯隊本部機關銃隊等の將兵が午前五時五十分及び同十時十八分の二回に亘つて平驛に到着し、これも三十分の停車後原隊に向け出發するので驛頭には各團體、學生其他の熱烈な歓迎が行はれる。

今日明日 平驛の凱旋兵

輝く元氣で家路に着く

驛樓上の歓迎會

昨報若松廿九聯隊凱旋兵のうち本日午後三時五十三分平驛着列車にて歸郷した郡下出身兵の一部は平驛着と同時に驛樓上は各種團體の歓迎を受け元氣潑潑として夫々の町村に向け歸途に着いたが今明兩日平驛に歸還する勇士は左記の如くである。

▽十二日

杉本要(好間) 山野邊清(玉川) 遠藤英雄(内郷) 猪狩數三(平) 永山甚一(玉川) 野崎清(好間) 蛭田利勝(山田) 佐藤峯義(神谷) 永山常重(三坂) 古市久太郎(大浦) 佐々木幸市(勿來)

▽十三日

櫛田都進(入遠野) 鈴木吉三郎(内郷) 稻村倉(勿來)

期満したので昨日改選を行つた結果左の如く新係員を決定した

△部長田中教諭△委員(四ノ一)川又カネ 袖井ミサオ(四ノ二)酒井セツ 根本ヨシイ(四ノ三)丸山

風水害の

免税決定

町村に指令来る

石城郡内に於ける昨年十一月の風水害による免税調査は豫てより平務署が極力進めて居たが此程仙臺稅務監督局より免税決定の指令を受けた町村は左の如くである。

平九町步 飯野二七 鹿

タマ 金子タツ(四ノ四) 野上トミ子 岡田三榮 (三ノ一)橋山トシ 渡邊タケ(三ノ二)富田キシ 阿部トヨ(三ノ三)瀬谷トク 山野邊フヂ(三ノ四) 鈴木トシ 瀧シモ

信用組合の

組織を變更

新たに保證責任に

本郡組合が改正

石城産業組合部會では過般政府より發令された信用組合組織改正案に依つて従來郡下各組合の大部分を占めて居た有限責任組合は廢止となり保證並に無限の組織に變更される事になつたので郡下に於いては便宜上全組合を保證責任組合とすべく着々準備中であつたが来る十五日午前十時より平町團體事務所に郡下産業組合

協議會を開催し組織變更に關する第一回の事務の注意事項を協議する事になつた當日の協議案は左の如くである。

- △組織變更に伴ふ取扱に關する件
- △事業報告書調製に關する件
- △新年度記帳處理に關する件

警女生の紅氣焰

初めての辯論大會

は来る二月中旬文藝部主催の下に今度初めての辯論大會を開く事になつたが出演者は各學年五名宛にて審査の結果優秀者には賞品を授與すると

校長會の懸案

十日

に開かれた石城郡第三區小學校長會の懸案國旗掲揚法に關する件及び教務主任會に關する件等は内郷佐藤一平一會我直治、平窪井上準好問吉田正太郎、赤井一安藤勤の諸氏が委員となり考究中の處愈々具体案が纏つたので来る二十日午前十時より平第一小學校に於て校長會を開き本議に附する事になつたと

内郷信用

總會議事

石城郡内郷村信用購買組合では来る十五日午後一時より同村家政女學校に於いて總會を開き左記の件に就いて協議する筈

- △昭和七年度事業報告及剩餘金處分の件
- △準備金特別積立金町管理法の件
- △貸付金最高額決定の件
- △定款變更の件

町村事務

平町で研究會

本縣主催石城郡下町村事務研究會は来る廿四五の兩日に於いて行はると

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

専門 内科一般

住宅診—内科は何でも診療致します
往診—呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

セメント 壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舖
平町二丁目 電話三

三丈の断崖から 自動車墜落して

車体は滅茶々々たが 運轉手と助手は無事

石城郡小名濱町橋本自動車店方運轉手寺田定宏(三)は昨十一日午前五時頃トラックを運轉し田村郡二瀬村宇田母神地内七曲下り坂で運轉を誤り三十尺の断崖より自動車諸共墜落して自動車は滅茶々々に大破したが運轉手は前額部にかすり傷を負ふたのみで助かり助手の酒井某はいち早く飛降りて是又命に別條がなかつたと

山口先生出發 既報
家上上の都合に依り退職された平第一小學校訓導山口重幸氏は本日平發午前十一時十八分にて職員其他生徒多数に見送られ出發した

第二職員會議 平第二小學校にては本日午後二時半より職員會議を開き今學期の行事に就いて打合せをした

吉屋酒店 四家久一 馬目合名會社 松本徳一
和泉屋酒店 大平陸四郎 清水屋酒店(掛社氏) 本間左源次 鈴木兵十郎 馬目玉彌 馬目合

舊坑道を掘つて 俄然大出水

山田村の吉村炭礦

石城郡山田村吉村炭礦では最近の炭價高に唆られて去る九日舊坑道を掘り始めたが突然大出水あり幸ひ坑夫等は逃走して難なきを得たが排水作業は今月一杯を要する見込である

自營會に感謝

改愆の詐欺犯人

伊達郡茂庭村字樋四百五十番地無職鈴木善四郎(三)は舊臘二十五日小名濱町飲食店山本屋に於て無銭飲食をなし逃走せんとした所を檢舉された事件は平發事局に於て上田檢察が改愆の情ありと認めため懲罪不起訴となし平自營會に保護方を委託し一泊せしめた上本日平發午前八時五十分にて

泥酔漢が 電車の前で轉び

アツと見る間に轢死

石城郡内郷村大字宮字町田二十號居住磐城炭礦會社電工萩原長松(三)は昨十一日午後五時頃友人方で泥酔しての歸途同村町田電車停留所で電車を待合して居た際進行して来た電車の前方に轉らんで轢かれ即死を遂げた

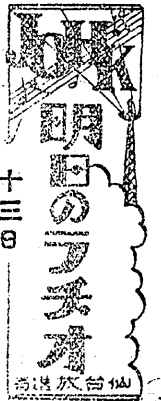
娘の家出

母親が心配

石城郡豊間村字薄磯居住魚行商人久保木ハルの長女富江(九)は十日午前七時頃母

杜氏組合 原料鑑定

石城郡杜氏組合總會は十日午前十時より平發事局内に開かれ酒母原料の鑑定會を催したが當日出品の優良者は左の如くである
(元杜氏)本間左源次 松



今日晩の部
後六〇〇 子供の時間
お話「新島襄先生」牧野虎夫
後六、二五 國立公園特別講座「和田湖」秋田針山
専門學校教授 大橋良一
後七、三〇 放送舞臺劇
名會社外十五名(酒母酵) 鷺清正外五十二名

谷城軍記 東京歌舞伎座より中繼 尾上梅幸一座
後九、〇五 マンドリン合奏 東京プレクトラムン
サイター指揮 内木清次
後九、三一 滿洲より
後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告

平商の寒稽古 平商業學校柔剣道部の寒稽古は明朝より開始されるが指導者は武川、藤原、藤井各教諭にて本日迄の志望者は二百名である

平裁判たより

既報田村郡三春町生れ目下住所不定前科十犯川前國之助(三)に對する窃盜事件の判決言渡し公判は本日午前九時より平區裁判所に於て中島判事係り上田檢察立會の下に開廷され判事より檢事の求刑通り懲役三年を言渡された

凱旋光景 發聲映畫

東朝主催で

東京朝日新聞社では来る十六日午後一時及び同六時の二回平町聚樂館に於いて第二師團の凱旋光景發聲映畫會を催すと

玉木訓導送宴

平第二小學校職員一同は本日午後六時より住吉屋本店に於て過般伊達郡梁川小學校に轉任された玉木英明氏の送別會を催すと

明日の部
前九、一〇 料理獻立
「牡蠣の御飯」中村光三
前一〇、三〇 家庭講座
「現代生活と香道の實際」
第一講 西山宗居
前一一、五〇 第二師團凱旋狀況(第三日)仙臺驛頭より中繼
後四、二〇 大相撲春場所狀況(第一日)國技館より中繼
後五、三五 受驗講座
「和文英譯」岡田實磨
後六、〇〇 子供の時間

平職案紹介所報告
回人を求める方
△女中 三十才前後 尋卒
給料面談(平町某旅館)
△店員 二十三才迄 尋卒
給料面談(平町某店)
△小店員 十八才以下 尋卒
月四圓(平町某酒店)
△出前持 二十才 尋卒
給料面談(平町某食堂)
回職を求める方
△大工 二十七才 尋卒
給料面談(田村郡某)
△菓子職人 四十八才 高卒
給料面談(北海道某)
△土工夫 四十六才 高卒
給料面談(平町某)
△行商 五十才 高卒 給料面談(平町某)
△事務員 二十一才 中卒 給料面談(大浦村某)

唱歌と童謡 J O A K 唱
後六、二五 國立公園特別講座「大雪山」北大教授農學博士枋内吉藏
後七、三〇 多門師團凱旋歓迎の夕(第四夜)凱旋歌と管絃樂 宮城縣師範學校合唱團
後八、〇〇 御淨瑠璃
「牛若君東下りの段」石巻町鈴木幸龍
後八、二〇 箏曲「凱旋」外
佐々木松波外
後九、〇〇 連續講談「淺野三勇士」第一席 一龍齋貞山

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電話一〇七

印刷御用命は總て
常警日印刷株式會社
電話三六〇番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

木村科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九

茶室の静けさ

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百四十一席 平手造酒

七助は面目なげに勢力を見て

七「親分聞いて下せえ、恁う云ふ譯でございます、わしが銚子の花屋に行つて酒を飲んでゐたところがわしの服装が粗末ゆゑ勘定を支拂ふ事も出来ねえと思つたか不漁で魚は何にもねえそれで玉子でも焼いてく

れといふと不漁で鶏も玉子を生まねえといふだ、業がにえてなんねえから懐中から金を出して之れだけあれば勘定は出来るだらうさ酒を持つて來う着を持つて來うと威張るとの……」

富「早く話をしろ氣が長いぢやアねえか、大變な事が出来たと云つたその大變だけ云いば宜いや」

七「まあ待つて下せえ、これから話さねば大變の出来た事が判らねえ、よく聞いて下せえ、わしが金を見せ

て威張ると隣座敷にゐたは銚子の陣屋にゐるお役人や目明して服装のきたねえ割にしては金を持つてゐるは不思議だとわしを目明しが縛り上げて金の出どころを訊ねた、そこで給金を貯めたと云つたが年に五……」

七「何卒勘辨して下せえ、

七「ハイ、役人や目明し

七「何卒勘辨して下せえ、



兩の給金を取る奴がこの料理茶屋に來て酒を飲むは身分不應な事だ、この金の出どころは怪しいと、わしを打つた、いいて白狀しろと云ふだね、そこで今度は口をかへて博奕で勝つたと云

云ふ氣もなくフラ〜喋舌つて了つた」
それを聞くと榮助が此の馬鹿野郎めと飛びかゝつて七助を引倒しボカ〜と頭を打つた、それを見て勢力

は富「コレ榮助何をする、出來上つたことは仕方がねえ打つな〜」

榮「それでもこの畜生め、親分が此處にゐることを役人に話すと」

富「まあ仕方がねえ、時に七助何處から此處へ逃げて來た」

七「親分もわしと一緒に行くかつせえ」

富「イヤ俺はこの山に居る主と一緒に此處を下ればとて役人や目明しの張つた網を破ることは出来ねえ、彼奴等に捕へられてさんん、責められた上この首を飛ばすは殘念だ、この山を死場所と覺悟した、サア〜早くお主は此處を引揚げろ、そこで七助、おめゑの妹おしづは平手先生に可愛がられて子まで生したとの事

先生は身狀が悪い許りに千葉先生の許を破門されたが劍術は名人だ、それほどの平手先生も運が盡きて非業な最後を遂げた、その血で出來たはおめゑの妹が産んだ子供、大事に育てるとさう云つてくれ、あれは先生の遺身だ、立派なものに上

げると云へ、待つて〜七助茲に金が三兩あるこれをおしづに遣つてくれ」
七「長りました、それではもう親分に會ふことも出來なからう、達者でお在なさいと云ふ處だが無事では居られぬえ」

富「何を云つてゐるんだ、早く山を下れ」
七「それでは親分此處でお別れ申します」
七助は勢力に別れて裏山から降りて行く、後に勢力が榮助に向ひ

富「いよ〜此處で佛になるぞ」
榮「へえしかし、親分山を下つて見ませう、逃げるこ

とが出来なければ又引返すことにして」

富「イヤ、そいつはいけねえ、もう麓には手が廻つてゐる、見ろ見ろこの山の四方に灯が見える、それが次第々々に近くなる、シテ見れば目明しがこれへ取詰めたナ」

と云つた時に榮助は脇差の柄を握つて麓をキツト見

る

富「何を云つてゐるんだ、早く山を下れ」

七「それでは親分此處でお別れ申します」

七助は勢力に別れて裏山から降りて行く、後に勢力が榮助に向ひ

富「何を云つてゐるんだ、早く山を下れ」
七「それでは親分此處でお別れ申します」
七助は勢力に別れて裏山から降りて行く、後に勢力が榮助に向ひ

斯界の權威!!!
大塚の靴
自生編上靴 六圓
女學生半靴 五圓
紳士靴弊店自慢の流行新形
平田町 大塚製靴部
電話七七番

市原醫院
平田町 電話一四番

りん病 永らく悩む人の福音
天下の名醫別府淵泉で出來た無効返金責任藥
別府林製
全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな
雜誌 推奨 一方があらませうか
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし
慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服
するも絶對胃腸傷害なき各藥であります
尚ほ此の藥は責任速効藥で二日內服して効なき時は
殘藥引換に全部異議なく返金します
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢
性、悪性の人は七日以上服して下さい。
美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に
付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。

薬價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
特約 平町古鍛冶町一〇
手販賣 **阿康藥舖**
縣社ノ下(電話四四番)

内科・小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院需應 平町紺屋町 電話五〇七番

豫告中の發賣品は
満洲
一人前十五錢で満腹
平町三丁目
せ魚會堂
電話六三三番